

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	村木 開	学校名	北九州市立柄杓田小学校
実施学年	小学校 2 年生	教 科	国語科
単元名	冬がいっぽい		

«学びを深めたいポイント»

本時では、冬の言葉を集めるという授業を行いました。この授業の目的は、季節の言葉に親しみ、自分の感性や表現力を高めることです。授業の流れは以下の通りです。

1. 冬に関する写真や絵本を見せて、冬のイメージや感想を聞く。
2. 冬に関する言葉を思い浮かべて、付箋に書いて貼る。
3. 付箋に書かれた言葉を、自然や生き物、食べ物、行事などのカテゴリーに分ける。
4. 各カテゴリーの中で、特に気になる言葉を選んで、その言葉について調べる。
5. 調べた内容をもとに、その言葉にまつわる自分の体験や想像を文章にする。
6. 作成した文章を発表し、感想や質問を交流する。

この授業を通して、子どもたちは冬の言葉に対する興味や関心を深めてほしいです。冬の言葉を探すことで、季節の変化や特徴に気づいたり、自分の経験や知識を思い出し、また、それらの言葉を分類することで、言葉の意味やニュアンスに着目したり、同じ言葉でも違うカテゴリーに入れることができることに気づかせることができます。さらに、言葉について調べることで、言葉の由来や背景に触れたり、言葉の使い方や表現方法に工夫したりして、さらに冬の言葉に親しみやすくなるようしました。最後に、文章を作成することで、言葉を通して自分の思いや感情を伝え、発表や交流の中で、他の子どもたちの考え方や感想を聞くことで、言葉の豊かさや多様さを感じるようにすることが本単元のねらいです。

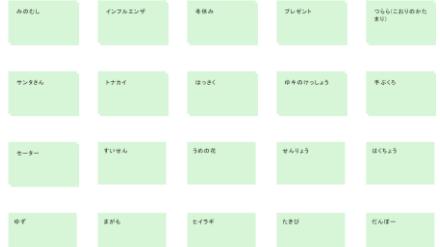
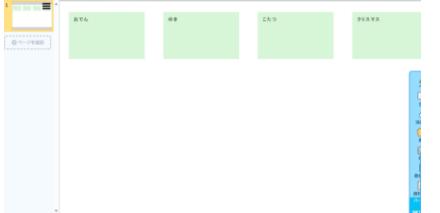
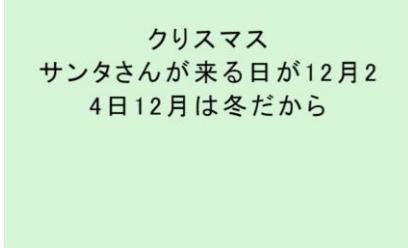
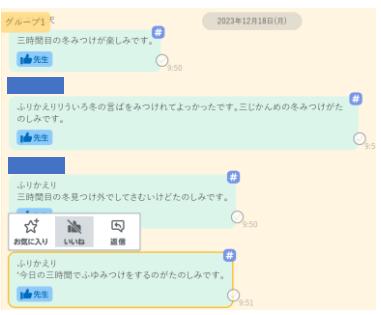
«SKYMENU 活用のポイント»

冬の授業で「冬の言葉集め」を行う際、児童たちは、教科書や参考資料から冬に関連する言葉や俳句を見つけ、気づきメモに記録します。例えば、「おでん」「こたつ」「ゆきだるま」といった季節感あふれる言葉を集め、それらを共有することができます。

SKYMENU 活用のねらいは、児童たちが自分のアイデアを即座にデジタル化し、クラス全体で共有することで、学びに意欲的に取り組む姿勢を育む点です。また、グループワークを通じて、生徒たちは協力しながら学び合うことができます。そして教師は児童の進歩をリアルタイムで確認し、必要に応じて指導を行うことができます。

SKYMENU を使用することで、授業はよりインラクティブで生産的なものになります。児童たちは、冬の言葉を通じて季節の変化をより深く理解し、言葉の豊かさを学ぶことができ、教師はそこに適切なフィードバックを加えることができます。

《実践内容》

SKYMENU 活用場面			
導入	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	冬の言葉を集める	 <p>気づきメモのグループワークを活用して冬の言葉を集めるようにする。</p>	<p>このページもさんこうしてください</p> <p>【冬の俳句 おすすめ30選】小学生向け!冬の季語を使った俳句例(一覧)を紹介! 俳句の教科書 俳句の作り方・有名俳句の解説サイト</p> <p>※ 見つけるのが苦手な児童のために冬の言葉一覧のHPを共有する。</p>
展開	<p>1 集めた冬の言葉を集めて発表ノートに張り付け、共有する。</p> <p>2 この中から、児童が気に入った冬の言葉を選び、それぞれが発表ノートに集約する。</p> <p>3 それぞれの言葉を選んだ理由を記入する。</p>	 <p>児童が集めた冬の言葉を一覧にして共有するようにする。</p>  <p>↑児童が選んだ言葉。</p>  <p>↑児童が書いた理由。手書き入力機能を使えば2年生でも入力が可能になる。</p>	<p>※ 児童が見つけた冬の言葉を一つ一つ紹介する。</p> <p>※ 4個から15個まで選ぶようにする</p> <p>※ 手書き入力機能を使えば、2年生でも一分当たり30字以上も文字を入力することができる。</p>
まとめ	次の授業の見通しをもち、本時の振り返りをする。	<p>三時間目の冬みつけが楽しめます</p> <p>↑気づきメモで振り返りを書くようにする。</p>	 <p>※ 全員の振り返りにコメントをしながらいいねを押し、価値づける。</p>

«実践を振り返って»

この授業では、SKYMENU Cloud を活用して、さらに授業の質を向上させることができました。

冬に関する写真や絵本を見せる際には、発表ノートを使って大画面で表示しました。これにより、子どもたちは冬の風景や生き物、行事などを鮮明に見ることができ、冬のイメージや感想を豊かに表現することができました。

冬に関する言葉を思い浮かべて付箋に書く際には、気づきメモを使って、文字入力を行いました。これにより、子どもたちは自分のペースで言葉を書くことができ、書き間違えや消しゴムの使用などの手間を省くことができました。また、手書き入力を使うことで、書くことに苦手意識を持つ子どもたちも言葉を入力することができました。

付箋に書かれた言葉をカテゴリーに分ける際には、タブレットやパソコンを使って、ドラッグアンドドロップの操作を行いました。これにより、子どもたちは紙の付箋を貼り直すことなく、簡単に言葉を分類することができました。また、カテゴリーの色や形を変えることで、言葉の分類の仕方に違いや特徴を見出すことができました。

言葉について調べる際には、インターネットを使って、ウェブ検索を行いました。これにより、子どもたちは自分が気になる言葉について、様々な情報を得ることができました。ウェブ検索の結果は、文字だけでなく、画像や動画、音声なども含まれており、子どもたちは視覚や聴覚を刺激されて、言葉の意味や由来、例文や画像などを多角的に学ぶことができました。

SKYMENU Cloud の活用は、子どもたちの創造力と言語能力、さらに主体的に学習に取り組む態度を刺激するものだなど改めて感じました。